

第28回神奈川県総合文化祭放送情報部門大会

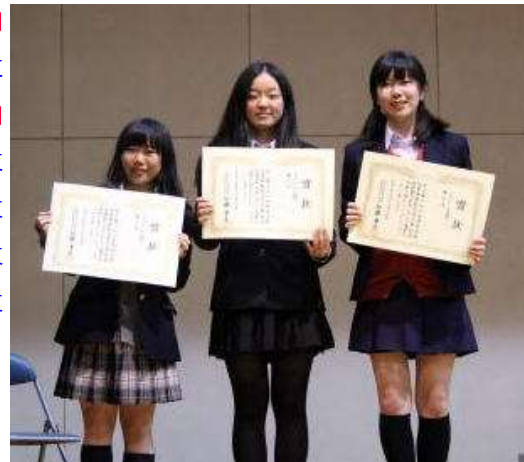
2013年11月17日：弥栄高校



審査結果

アナウンスの部

1 県立神奈川総合	多田 千聖	2年 教育長賞	全国
2 県立平塚江南	真壁 由衣	2年 高文連会長賞	全国
3 県立神奈川総合	原口 奈々	2年 高文連会長賞	関東
4 私立向上	落合 佑香	2年 高文連会長賞	全国
5 私立法政大学第二	田中 惇也	1年 高文連会長賞	関東
6 県立白山	斎藤 あゆみ	2年 高文連会長賞	関東
7 県立多摩	宮崎 光咲子	2年 高文連会長賞	関東
8 県立白山	池田 穂乃	2年 高文連会長賞	関東
9 私立横浜英和女学院	藤原 菜々花	1年 (高視研会長賞)	
10 私立向上	岩井 優奈	1年 (高視研会長賞)	
11 県立新城	藤井 環	1年 (高視研会長賞)	
12 県立上矢部	砂川 美紗音	1年 (高視研会長賞)	



予選通過者 坂本育美(多摩)、戸田美咲(元石川)、小林あかり(湘南)、吉田楓(平塚江南)、斎藤大地(足柄)、阿久津葵(新城)
田居美由姫(市高津)、近藤亜美(麻生)海田和果(東海大相模)、齊藤 春華(相模女子)、松山由佳(捜真女)、福井彩香(上矢部)

安田敬一郎様(日本工学院専門学校)3つの点に注目して審査しました。

1. 声・・・いい声とはどんな声でしょう？それは、響きや厚みのある声だと思います。声を磨くのは、アナウンスの土づくりのようなものです。
 2. 音飛び・・・一音一音丁寧に表現する気持ちが大切です。音飛びが癖になってしまうと、改善に苦労します。
 3. 日本語は音の高低差で表現する言葉・・・しっかり高くしっかり低く、綺麗な放物線を描くように表現しましょう。
- *マイクの芯を外している生徒が何人かいました。とても勿体無い事です。落ち着いて、自分のポジションをセッティ

朗読の部

1 県立神奈川総合	佐藤 綾香	1年 教育長賞	全国
2 私立法政大学第二	小谷 昌吾	2年 高文連会長賞	全国
3 県立白山	高杉 みさき	2年 高文連会長賞	全国
4 県立上矢部	勝呂 七海	2年 高文連会長賞	関東
5 川崎市立高津	小川 江里香	2年 高文連会長賞	関東
6 私立横浜英和女学院	芳沼 実穂	1年 高文連会長賞	関東
7 県立平塚江南	小橋 奈央子	2年 高文連会長賞	関東
8 県立大師	国仲 優美	2年 高文連会長賞	関東
9 県立麻生	大崎 恵	2年 (高視研会長賞)	
10 県立元石川	新井 和貴	2年 (高視研会長賞)	
11 私立向上	後藤 りん	2年 (高視研会長賞)	
12 私立向上	穂積 優香	1年 (高視研会長賞)	



予選通過者 木村佳葉(神奈総)、蒲生琴美(金井)、山崎賢斗(大師)、橋詰栞奈(多摩)、小園秀汰(法二)、三輪美宙(横浜創英)
數野 那由太(日大藤沢)、滝田いづ美(生田)、水谷和真(平塚江南)、菅原史織(弥栄)、伊藤遙香(足柄)、吉田彩香(川崎北)

<本選>教員審査員

本選は基礎ができていない生徒が多かった。

- ・マイクに声に乗っていないです。マイクの使い方でもっとよく聞こえると思える人が多かったです。もっとマイクを使った練習をしましょう。
- ・抽出箇所では会話が早いところを選んだ人は感情を入れ過ぎていた。
- ・情景を思い浮かべられる読みをしよう。
- ・自分の声に合った抽出をしよう。自然な声を出そう。

山本誠也様(日本工学院専門学校)

オーディオピクチャーの部

- 1 私立横浜英和女学院 放送部 今宮 渚 1年 県知事賞 **全国**
- 2 私立法政大学第二 放送部 八木 健晴 2年 高文連会長賞 **関東**
- 3 県立元石川 放送委員会 岩淵 汐音 2年 (高視研会長賞)
- 4 県立元石川 放送委員会 宮尾 祐人 1年 (高視研会長賞)
- 5 県立上矢部 放送委員会 岩倉 玲治 2年 (高視研会長賞)
- 6 私立向上 放送部 細田 奏絵 1年 (高視研会長賞)

滝沢伸幸様(オール・エフ・ラジオ日本)

力作が多く、楽しく拝見いたしました。

SE挿入に努力のあとが見られ、BGMもプロっぽい使い方をしている作品もあり、大変関心しました。

アナウンス・ナレーションも一定のレベルをクリアしていると思います。

次回に向けてアドバイスがあるとすれば

テーマの選び方やその扱い方にもう一工夫欲しかったと思います。

ビデオメッセージの部

- 1 私立法政大学第二 放送部 荒井 圭二郎 2年 教育長賞・神奈川新聞社賞 **全国**
- 2 私立捜真女学校 放送部 阿部真理奈 1年 高文連会長賞 **全国**
- 3 私立法政大学第二 放送部 鈴木 貴大 1年 高文連会長賞 **関東**
- 4 私立向上 放送部 坂井 壮光 2年 (高視研会長賞)
- 5 県立元石川 放送委員会 高木 今日太 2年 (高視研会長賞)
- 6 私立向上 放送部 大淵 亜美 1年 (高視研会長賞)



北川敬一様(日本工学院放送映画科講師)

以前、放送部の高校生たちの作品を指導したあと、高校生から、次のようなメールをもらったことがあります。

過去に大会で優勝した作品が優れていて、それに似た作品を作ればよいのではないかと考えてしまいがちでした。

指導を受けた後は、今まであったものを変えたりするよりも、新しいネタを自分たちで考える方がずっとよいと思いました。

「高校生らしさ」とは何かという話をみんなです。私たちが高校生らしいと思っても、審査員の先生方からみたら、背伸びし過ぎたものになってしまったり、高校生がどこまで踏み込んでよいのか、高校生らしいとは何なのかというのは、高校生の私たちですら、難しいです。

でも、そんなことを考えつつ、作ってはつぶし作ってはつぶす放送が、ますます好きになっています

今回の大会の最後のあいさつで、高校生たちに紹介をしたかったメールでした。

情報課題の部

- 1 元石川 放送委員会 栗城 和美 1年 高文連会長賞・神奈川工科大学賞 **全国(茨城大会)**
- 2 麻生総合 学校代表 山形 嶺奈 3年 相鉄賞
- 3 元石川 放送委員会 三觜 智之 1年 相鉄賞 **全国(茨城大会)**
- 4 生田 放送委員会 西澤 大樹 2年 相鉄賞



情報自由の部

- 1 横浜国際 学校代表 菊地 真由香 3年 高文連会長賞、神奈川工科大学賞 **全国(茨城大会)**
- 2 元石川 放送委員会 笹倉 萌乃佳 2年 相鉄賞 **全国(IT夢コン)**
- 3 日本大学藤沢 放送部 馬越 綾菜 2年 相鉄賞 **全国(IT夢コン)**
- 4 麻生総合 学校代表 花岡 咲希美 2年 相鉄賞 **全国(IT夢コン)**